

## 2 再生可能エネルギーによる地域内経済循環

7 エネルギーをみんなに  
もってクリーンに



11 住み続けられる  
まちづくりを



13 気候変動に  
具体的な対策を



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



豊富に存在する地域資源を活用した再生可能エネルギーの地産地消による地域内経済循環の創出を目指します。市民や事業者、行政が一体の再生可能エネルギー事業となるよう官民が連携して持続可能なまちづくりを進めます。

### 重点事業

#### 再生可能エネルギー プロジェクト推進事業

5,986万円（エネルギー推進課）

##### 【再生可能エネルギーゾーニング調査】

再生可能エネルギーの導入を促進するゾーニングマップを作成します。

##### 【宮古市版シュタットバルケ構築促進】

エネルギー政策の理解、関心を深める普及啓発や機運を醸成する取り組みを行います。

##### 【宮古市スマートコミュニティ推進協議会事業】

再生可能エネルギーの地産地消、耐災害性の向上に資するスマートコミュニティ推進協議会の取り組みを支援します。

##### 【宮古市再生可能エネルギー基金への積立】

地域の課題解決に向け、再生可能エネルギー事業から得た収益を再生可能エネルギー基金へ積み立てます。

#### 宮古市版シュタットバルケとは

さまざまな再生可能エネルギー事業へ、市が資本参加することにより得られる収益を、再生可能エネルギー基金を通じて、公共交通の維持や福祉、教育などの地域課題を解決するための財源として活用する仕組み。



イラスト  
エネルギーの現在と目指す姿

#### 再生可能エネルギー設備導入 促進事業

2,250万円（エネルギー推進課）

市民、市内事業者の積極的な再生可能エネルギーの導入促進を図るため、住宅用太陽光発電システムおよび蓄電池システムの設置経費の一部を支援します。



写真：田老太陽光発電所

# 3 持続可能な公共交通の構築

11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナーシップで目標を達成しよう



公共交通の利用は、環境への負荷を低減させ、省エネルギーの推進に大きく貢献します。高齢社会が進展していく中で、公共交通の必要性はより高まります。利便性を高め、市民の利用を促進し、公共交通を次世代へと継承していきます。

## 重点事業

### 公共交通利用環境の整備 3億6,350万円 (公共交通推進課)



写真：宮古駅

宮古駅の利便性向上のため、2つのホームをつなぐ跨線橋のエレベーター設置等のバリアフリー化工事を行います。

八木沢・宮古短大駅のアクセス改善に向けて、基本設計等の検討を行います。



写真：八木沢・宮古短大駅

### 地域バス運行 デマンドタクシー運行事業 3,651万円 (新里・川井総合事務所)

公共交通機関が不足する新里地域と川井地域において、住民の移動手段を確保するため、地域バスを運行します。

また、地域バスの停留所まで移動が困難な方を対象に、タクシー車両により移動手段を確保します。

### JR山田線利用促進事業 330万円 (公共交通推進課)

利用促進を図るため、イベントの開催に合わせた臨時列車への運行支援や回数乗車券、通学定期券購入者への支援を行います。

### タクシー確保維持事業 240万円 (公共交通推進課)

タクシーの利用拡大を図るため、タクシー協会が実施するデリバリーサービスを支援します。

### 路線バス対策事業 9,020万円 (公共交通推進課)

市民の移動手段を確保するため、バス事業者に対し運行経費の一部を支援します。また、利用促進を図るため、バス事業者との連携によるPR活動やICカードの普及促進を行います。

